

2024年5月24日

## 24年6月賞与要求 労使協議会 報告



三越伊勢丹グループ労働組合  
関連グループ I 支部

センチュリートレーディング直轄分会

**開催日：5月20日（月）・23（木）**

**参加者：会社＝高橋社長 白井総務・経営企画部長 木村経営企画担当 組合＝磯原支部委員長**

組合より5/20月の分会総会審議の結果を報告したのち、24年6月賞与要求を行いました。会社からは満額回答を頂きましたので、ご報告いたします。

### <要求にあたって>

センチュリートレーディングでは、2023年度賞与（2023年12月支給賞与）より、「賞与支給表をベースとしつつ、定量面（売上高・営業利益の実績、前年比及び予算比等）や定性面（アクションプラン等の達成度合い）を踏まえ、支給水準を判断」することとしています。

23年度は、業績面において予算・前年共に増収増益となり、今回の好業績はセンチュリートレーディングカンパニーで働く全ての従業員が一丸となって取り組んだ結果であることを踏まえ、要求を行いました。会社からは、要求の考え方に対して同様の認識である旨のコメントと合わせて、満額回答を頂きました。

### <今後に向けて>

センチュリートレーディングカンパニーは、グループ内で唯一輸入・卸売を専門として長い実績・経験・実力を兼ね備えた老舗企業であり、今後、グループ連邦戦略の重要な一角を担うことが期待されています。このような期待に応えていくためにも、連邦戦略を中心としたアクションプランの着実に実行することにより、お客様のご要望やご期待を越える価値提供、海外の生産者やグループ内での信頼関係の構築し、安定的な業績確保を目指した基盤整備に取り組んでいく必要があります。

**国内外のネットワークとグループリソースを最大限活用し、これまで以上に「攻めつつ、稼ぐ会社」を目指し、頑張っていきましょう！**

そのためには、チームとしての一体感や信頼関係をもって、課題が生じた場合は組織・チームの中で協力し合いながら解決していけるような風土づくりが大切です。組合もメンバーの方々と一緒に考え、取り組んでいきます。